


# 枚方まきの地域活動委員会

## 今回のテーマ「もずくからSDGsを考えてみよう!」 ニュース Vol.7

ようこ: 新型コロナウイルスの感染者数も少しずつ落ち着いてきているから、組合員活動(取り組み)も緩和されるといいなあ...とところで、かなこさん、最近気になっていることはあるかな?

かなこ: ようこさん、『味付系もずく』に付いている『赤いマーク』が気になっています。  


ようこ: それは、「サンゴ再生もずく基金」のマークだよ。

かなこ: へー、もずくとサンゴってどういう関係があるんですか?

ようこ: そう思うよね。じゃあ、沖縄にいるもずく君に聞いてみよう♪

もずく君: 沖縄には山がないから、山や森の栄養が海に流れていかないんだよ。その代わりに、沖縄の海では、サンゴに住む共生藻(褐虫藻)が光合成を行い、海に栄養分や酸素を供給しているよ。だから、サンゴが沖縄の海にとって重要な役割をするよ。


かなこ: 一時期、『味付系もずく』が買えなくなったときがあったけど、それって、沖縄の海に何があったの?

あひる先生: あひるですが、実は海の事も詳しいんです!

それなら、わたしが説明しましょう♪  
 気候変動の影響で、海水温が上昇し、特に、2018年11月から翌年3月にかけて、沖縄近海の海水温は過去最高となり、その影響によって糸もずくが生育不良となり過去にないほど凶作になりました。

海水温の上昇は、サンゴにも大きな影響を与えます。高い海水温が継続するとサンゴに共生している褐虫藻が体内から喪失します。その結果、サンゴ自体の骨格が透けて、白く見えるサンゴの白化現象が起こります。さらに、この状態が長く続くとサンゴは褐虫藻から栄養を受け取ることができず、やがて死滅します。

サンゴは海の生態系の中でとても大切なんです。サンゴの元気な海でもずくが良く育ちますからね。詳しくは『味付系もずく』を作っている『井ゲタ竹内さん』が作られた動画を見るとよくわかりますよ。ぜひ、見てみてくださいね。

井ゲタ竹内さんのユーチューブへ行きます→ 

パルコープでは、『味付系もずく』を1つ購入することで、1円の寄付ができるよ。昨年度は、『サンゴ再生もずく基金』が22万9602円集まり、82本のサンゴが植え付けられたよ。

かなこ: 井ゲタ竹内さんのユーチューブを見たら、『サンゴ再生もずく基金』の意味がよくわかりました。私たちが『味付系もずく』を買う事で、豊かな海を次の世代に残せる(里海つくり)、環境保全に貢献ができるのですね。

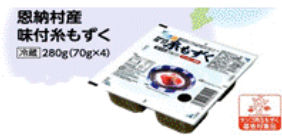
SDGs

そう、それがSDGsを意識した行動だね。SDGsとは、持続可能な開発目標の略称で、↓下の図のように2030年までに達成すべき17の目標があるよ。個人で取り組める身近な例として、マイバックやマイボトルを持ち歩くことでプラスチックゴミを削減できるよ。こんな風に、私たちのくらしのあり方が、安心して暮らせる社会を作るよ。

かなこ: まとめてみました! 私たちが『味付系もずく』を購入することで...  
 ★寄付ができる(環境問題・里海つくり)⇒目標 13 14  
 ★生産者の生活を支える⇒目標 8 11  
 ★輸入品に頼らない(食料自給のあり方)⇒目標 12  
 ★おいしいもずくが食べられてしあわせ♡⇒目標 12

かなこ: 私たちの消費行動がSDGsの17の目標のうち5つも貢献しているんですね。

つまり、私たち消費者の意識や行動で人にも環境にもやさしい社会を作っていけるんですね♪




まずは、知る事から始めてみよう♪



枚方まきの地域活動委員会 (全パル委員会)

\*お問い合わせや組合員活動に興味のある方は↓こちらまでお電話または、メールをください

おおさかパルコープ組合員サービスセンター (火~金9時から18時、月・土9時から17時)  
 0120-299-070 072-856-7671(携帯電話の場合 有料) 0120-299-230(FAX)  
 メールアドレス: kumikatu@palcoop.or.jp → 

\*受付させていただいた個人情報につきましてはこの取り組み以外には使用しません